

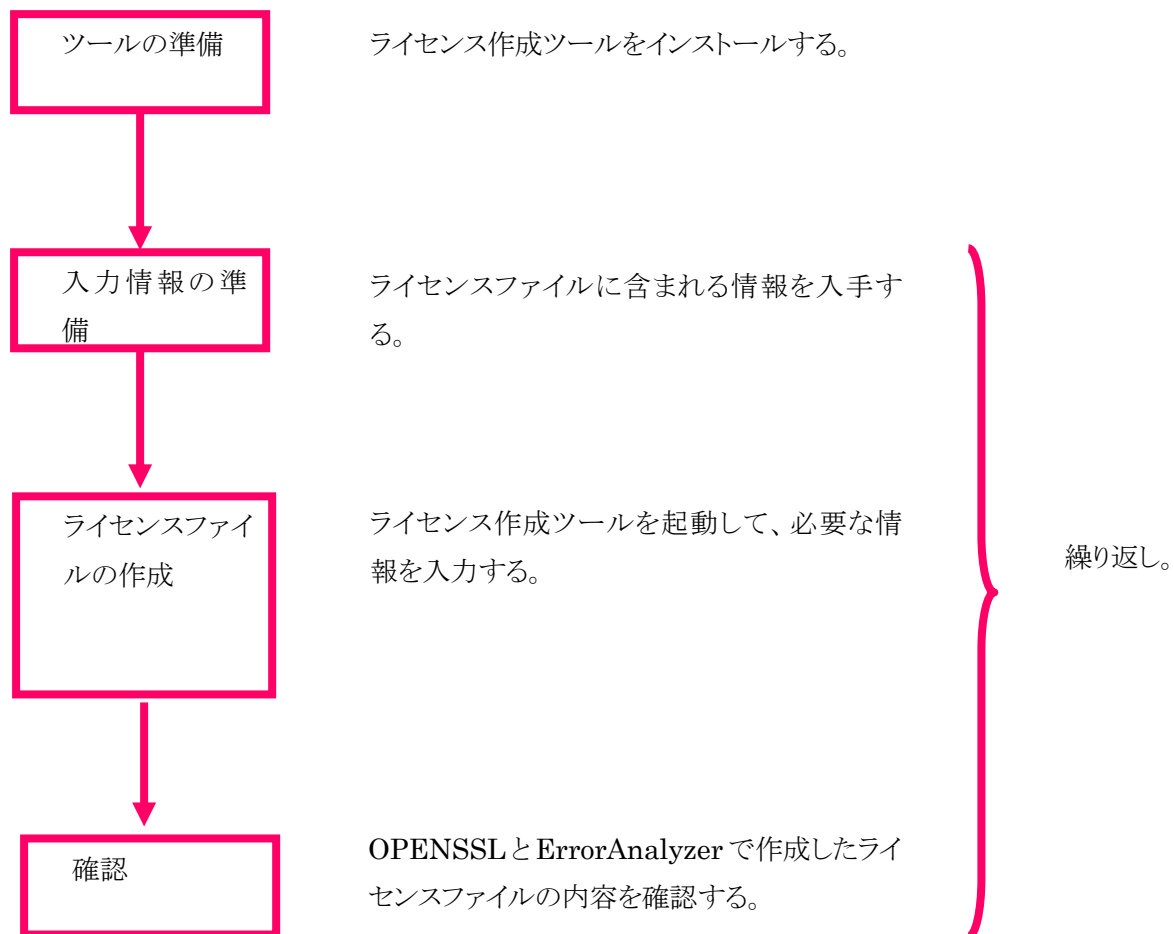
Excat for Java

ライセンスファイル作成手順

目 次

1. ライセンスファイルの作成フロー	3
2. ツールの準備	4
2-1. 前提条件	4
2-2. ツールのインストール	4
3. 入力情報の準備	5
4. ライセンスファイルの作成	6
5. ライセンスファイルの確認	9

1. ライセンスファイルの作成フロー



2. ツールの準備

2-1.前提条件

Linux 環境で、OPENSSL 0.9.8 をインストール済みとする。OPENSSL コマンドの実行パスを環境変数「PATH」に追加する必要がある。以下のコマンドで OPENSSL のバージョンを確認する。

```
openssl version
```

2-2.ツールのインストール

mklicense.tar を適当なディレクトリ)に展開する。

＊ 本書では、ディレクトリ「/usr」に展開することで説明する。

以下のコマンドを実行する。

```
cd /usr  
tar xvf mklicense.tar
```

ディレクトリ「/usr/mklicense」が作成されることを確認する。

3. 入力情報の準備

ライセンスファイルの作成は、以下の情報が必要である。

- ・ 国
- ・ 都道府県
- ・ 所在地
- ・ 組織名(会社名)
- ・ ライセンス番号:16 バイトまで有効
- ・ 電子メール
- ・ 利用期間:開始日と終了日

上述の情報を全部英語で入力する。

4. ライセンスファイルの作成

以下の手順でライセンスファイルを作成する。

- (1) 以下のコマンドを実行して、ツールを起動する。

```
cd /usr/mklicense
./gencert.sh
```

- (2) 指示通りに情報を入力する。

- ①作成するランセンスファイル名を入力する。

```
[root@localhost mklicense]# ./gencert.sh
enter the name of file: 
```

- ②国名を入力する。

```
[root@localhost mklicense]# ./gencert.sh
enter the name of file: ccat071231
generating private-key...Generating RSA private key, 512 bit long modulus
.....+++++++
.....+++++++
e is 65537 (0x10001)
done.
Country Name (e.g., [JP], [CN], ...): 
```

- ③都道府県名を入力する。

```
Country Name (e.g., [JP], [CN], ...): JP
Prefecture or state (e.g., [Tokyo], [Shanghai], ...): 
```

- ④所在地名を入力する。

```
Country Name (e.g., [JP], [CN], ...): JP
Prefecture or state (e.g., [Tokyo], [Shanghai], ...): Tokyo
City (e.g., [Chuo], [Xxxx], ...): 
```

- ⑤組織名を入力する。

```
City (e.g., [Chuo], [Xxxx], ...): Chuo-ku
Company (e.g., [iPride Co., Ltd.]): 
```

- ⑥ライセンス番号を入力する。

※ライセンス番号はライセンスファイル名と同じ設定する必要があります。

Company (e.g., [iPride Co., Ltd.]): SYSTEM Co.,Ltd.
Username: Evaluation

タイトルが「Username」であるが、Excat では
ライセンス番号として利用する

⑦電子メールを入力する

Username: Evaluation
Mail address:

⑧Excat のバージョン番号を入力する。

Mail address:
Software version (e.g., [Excat<=1.0]): Excat=1.1

Excat のバージョン番号が「1.1.x」である場
合、バージョン番号の 2 桁のみを入力する。
*“Excat”文字列が固定

⑨次に表示される「Macアドレス」については、Return キーのみを入力する。

Software version (e.g., [Excat<=1.0]): Excat=1.1
MAC address (e.g., [01:23:45:67:89:AB]):

入力しない

⑩利用開始日を入力する。

MAC address (e.g., [01:23:45:67:89:AB]):
generating certificate request... done.
Certificate is valid from (YYMMDDhhmmss): 070501000000

「YYMMDDhhmmss」の形で入力する
分秒は 0 時 0 分 0 秒とする

⑪利用終了日を入力する。

```
Certificate is valid from (YYMMDDhhmmss): 070501000000  
Certificate is valid to (YYMMDDhhmmss): 071231235959
```

「YYMMDDhhmmss」の形で入力する
分秒は 23 時 59 分 59 秒とする
2037 年 1 月 1 日まで

⑫署名するキーを入力する。

```
generating certificate (i.e., license file)... Using configuration from openssl.cnf  
Enter pass phrase for CA/private/cakey.pem:
```

パスワードを入力してください。画面上に表示
されない

⑬以下の行が表示されたら、ライセンスファイルの作成が成功である。

```
congraturation: license file ccat071231.pem is now generated!  
caution: please backup the CA/ directory immediately!
```

作成されたファイルは、ディレクトリ「/usr/mklicense」にある。

5. ライセンスファイルの確認

ErrorAnalyzer を起動して、確認するライセンスファイルを選択する。表示される情報を入力情報と照らして確認する。

(1) 「ライセンス登録&削除」ボタンを選択する。



(2) 表示される「ファイル選択」ダイアログボックスで確認するライセンスファイルを選択する。

(3) 表示されるダイアログボックスにある情報を確認する。